

レジメンNo. <b>4148</b>		レジメン名 <b>デュルバルマブ+GEM/CDDP</b>			
病棟 患者番号 氏名	総種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)	
歳	cm	kg	m <sup>2</sup>	ml/min (mg/dl)	
【適応がん種】 胆道癌		Duv/GEM/CDDP		【その他注意事項】 胆道癌 1st line推奨 デュルバルマブ 体重30kg以下は20mg/kg デュルバルマブ+GEM/CDDP (21日/コース) <b>最大8コースまで</b> 以降は デュルバルマブ (レジメンNo.1068) (28日/コース)	
1・デュルバルマブ	1500 mg/body	DAY1	体重30kg以下は20mg/kg		
2・ゲムシタピン	1000 mg/m <sup>2</sup>	DAY1・8			
3・シスプラチン	25 mg/m <sup>2</sup>	DAY1・8			
21日(3週)1クール					
NO	薬品	規格	本数	溶媒	時間・投与法
①	生食50mL		1 本		全開で点滴
②	イミフィンジ(1500)mg	500mg	3 本	生食100mL	①終了後～ 1時間以上かけて点滴
			体重30kg以下は 20mg/kg		
③	生食50mL		1 本		②終了後～ 30分で点滴
④	パロノセトロンパック		1 本		③終了後～ 全開で点滴
⑤	デキサメタゾン 6.6mg		1.5 本	デノサリン500mL	④終了後～ 1時間で点滴
⑥	シスプラチン( )mg	50mg 25mg 10mg	本 本 本	ラシックス20mg 1A 生食500mL	⑤終了後～ 1時間で点滴
⑦	ゲムシタピン( )mg	1000mg 200mg	本 本	5%ブドウ糖 100mL	⑥終了後～ 30分で点滴
⑧	生食1L		1 本		⑦終了後～ 1時間30分で点滴
【減量基準】 白血球 1000未満 または 血小板25000未満とするが、感染症リスクなどを考慮しそれ以上でも減量を検討すること。 ※原則として、シスプラチンは低用量であるため、まずはGEMのみを減量する。					
【減量方法】 1段階 GEM 800mg/m <sup>2</sup> →2段階 GEM 600mg/m <sup>2</sup>					
Infusion reactionとして、発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難等があらわれることがあるので、本剤の投与は重度のInfusion reactionに備えて緊急時に十分な対応のできる準備を行った上で開始すること。 また、2回目以降の本剤投与時にInfusion reactionがあらわれることもあるので、本剤投与中及び本剤投与終了後はバイタルサインを測定するなど、患者の状態を十分に観察すること。なお、Infusion reactionを発現した場合には、全ての徴候及び症状が完全に回復するまで患者を十分観察すること。 インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用すること。					
【外来時 医師注意事項】 <input type="checkbox"/> 投与1週間後に血算などの検査実施					
投与予定日	投与スケジュール	投与時間	備考欄		
	①②③④⑤⑥⑦⑧	DAY1			
	④⑤⑥⑦⑧	DAY8			

202405作成